

特集

SPECIAL ISSUE

理学療法士とは

CONTENTS [目次]

・理学療法士とは

INFORMATION [インフォメーション]

新任医師紹介  
健診のお知らせ



新任医師紹介

泌尿器科

春日井 震

SHIN KASUGAI



5月から泌尿器科に勤めることになりました。春日井 震と申します。一般泌尿器科を診ておりました。前立腺肥大、尿管結石に興味があり、当院での勤務を希望してまいりました。愛知県春日井市からの転勤です。言葉も尾張弁で通じないこともあるかと思いますが、よろしくお願ひ致します。

麻酔科

佐藤 恒久

TSUNEHISA SATO



7月から麻酔科を担当する佐藤です。大学院進学のため少しの間離れておりましたが、無事に戻ってまいりました。専門は急性期周術期管理です。安心・安全に手術を受けて頂けるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

健診のお知らせ

2020 10/18 日 マンモサンデー (午前のみ)

対象 女性のみ  
内容 ・マンモグラフィ  
・無痛乳がんMRI  
・子宮頸がん検診

2020 11/3 火, 11/23 月

両祝日とも1日健診実施

内容 ・健康診断 (※胃カメラ希望の方は午前のみ)  
・市民がん検診

健診予約専用ダイヤル▶ 0120-771-804

バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



バス時刻表

「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西				2 田尻橋北 ⇒ 柏原西				
月～金		土・日祝		月～金		土・日祝		
6時			[45]	6時	[50]	[58]	[58]	
7時				7時	[30]	[46]	[43]†	
8時	[26]	[55]	[24]	[53]	8時	[24]†	[53]† [22]† [51]†	
9時	[25]*	[55]	[23]*	[53]	9時	[23]†*	[53]† [21]†* [51]†	
10時	[25]*	[55]	[25]*	[55]	10時	[23]†*	[53]† [23]†* [53]†	
11時	[25]*	[55]	[25]*	[55]	11時	[23]†*	[53]† [23]†* [53]†	
12時	[25]*	[55]	[25]*	[55]	12時	[23]†*	[53]† [23]†* [53]†	
13時	[25]*	[55]	[25]*	[55]	13時	[23]†*	[53]† [23]†* [53]†	
14時	[25]*	[55]	[25]*	[55]	14時	[23]†*	[53]† [23]†* [53]†	
15時				15時	[24]	* [54]	[24] * [54]	
16時				16時	[25]	* [55]	[24] * [54]	
17時				17時	[25]	[55]	[24]	[54]
18時				18時	[25]	[55]	[24]	[54]

「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅				2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅			
月～金		土・日祝		月～金		土・日祝	
6時				6時	[11][37]	[26]	[26]
7時				7時	[07][26][47]	[09][30][50]	[09][30][50]
8時				8時	[09][29][49]	[19][57]	[19][57]
9時	[22]	[21]		9時	[24]	[23]	[23]
10時	[03]	[34]	[03]	[33]	10時	[05][36]	[05][35]
11時	[04]	[34]	[03]	[33]	11時	[06][36]	[05][35]
12時	[04]	[34]	[03]	[33]	12時	[06][36]	[05][35]
13時	[04]	[34]	[03]	[33]	13時	[06][36]	[05][35]
14時	[04]	[34]	[03]	[33]	14時	[06][36]	[05][35]
15時	[04]	[34]	[03]	[33]	15時	[06][36]	[05][35]
16時	[04]	[34]	[03]	[33]	16時	[06][36][53]	[05][35]
17時				17時	[05][36]	[04][34]	[04][34]
18時				18時	[36]	[34]	[34]

す：すずかけセントラル病院経由 水：浜松市総合水泳場行 三：産業展示館東経由 三立製菓行  
[ ]内は超低床ノンステップ「オムニバス」運行予定 (車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

編集後記

暑い日が続いておりますが、皆様どうお過ごしでしょうか。今年は東京オリンピックが延期になってしまいましたね。楽しい事が延期になるのは悲しいですが、来年を楽しみに頑張っていきたいですね！体調を崩しやすい時期なので、体調管理もしっかりと行いましょう。



【はじめに】

理学療法士と聞いて、どんなイメージがあるでしょうか？リハビリテーションや運動を行うという大まかな部分は分かる方もいるかも知れませんが、詳しく説明できる方は少ないかと思えます。そこで、今回は動作の専門家である理学療法士についてご紹介いたします。

理学療法士とは、厚生労働大臣の免許を受けた国家資格を有した職業です。現在、全国で約十七万人が総合病院や療養型病院などの医療施設、介護関連施設や児童福祉施設、訪問リハビリテーションなどの福祉・介護施設を中心に幅広い分野で働いています。また最近では、メタバリックシンドロームの予防や高齢者の転倒予防対策、スポーツ分野でのパフォーマンス向上など障害を持つ方に限らず健康な方々にも関わるようになっていきます。

ここでは、当病院の理学療法士の仕事についてお伝えします。

理学療法とは

理学療法とは、病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある方々に対し、日常生活を行う上で基本となる動作（寝返りや起き

上がりなどの起居動作、立ち上がりや歩行などの回復や悪化予防を目的に、運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いて行われる治療法のことです。

簡単に言うと身体動作の専門家であり、各個人の身体機能や痛みの評価・分析をした上で、基本動作能力の改善、運動療法により正しい動きの学習と指導、痛みや麻痺の回復に対して物理療法を行い、自立した日常生活を支援する専門職種です。

当院の理学療法士の仕事内容

リハビリテーション（理学療法）

主な仕事は患者さんへのリハビリテーションの提供です。当院はケアミックス病院であり、入院から外来に至るまでリハビリテーションの提供を行っています。



十分なスタッフ数を配置しているため、病気になる前から早期の介入、充実したリハビリテーションの提供が行えています。

回復期リハビリテーション病棟

三六五日、毎日二〜三時間のリハビリテーションを行っています。主に整形疾患や脳血管疾患患者さんに対し日常生活動作の能力改善を目指し機能向上練習や歩行練習を行っています。リハビリテーション専門医の定期診療にて、運動負荷の相談や麻痺のある患者さんに対して義肢装具士と連携し装具の作成を行っています。近年は、足の切断の患者さんに対して義足を作成し、義足での動作練習にも力を入れています。また回復期病棟での透析患者の受け入れも行うっております。

退院後の生活を見据えたリハビリテーションの提供のため、必要に応じて実際に家にお伺いして環境調整のアドバイスや福祉用具の提案を行い早期退院を目指しています。

地域包括ケア病棟

リハビリテーションの対象となる患者さんに対して、平均四〇分間のリハビリテーションを提供しています。また退院に向け計画的に話し合いの場を設けています。患者さんやご家族が安心して退院先で

生活できるように、デイサービスや訪問看護などの検討や、自宅内の環境設定などの介護保険サービスの提案をしています。他職種との連携をはじめ、地域のケアマネージャーや福祉用具業者と退院前に話し合いの場を設け、情報を共有し退院後の生活を想定した上で、リハビリテーションを提供しています。退院後は、地域で安全でより質の高い生活をサポートできるように心がけています。

療養病棟・障害者病棟

長期療養目的で入院されている患者さんに対して、生活の質の向上や緩和目的でのリハビリテーションの提供をしています。療養生活において、生活の質の向上や維持に着目し、余暇活動や趣味に即したリハビリテーションを行い、リハビリテーションの時間が患者さんにとって良い時間となるように努めています。また、安心した療養生活を送れるように、関節の拘縮予防や車椅子やベッドの上での姿勢を調整し、快適に過ごす事ができるように関わっています。

外来

主に整形外科や脳血管外科、麻酔科を対象に、目標と期間を決めてリハビリテーションを実施しています。またリハビリテーションの専門「医」の定期診療

筆者

すずかけセントラル病院  
診療技術部  
リハビリテーション科  
理学療法士 神田謙一



急性期病棟

骨折に伴い手術を施行された整形疾患患者さんは、痛みにより動くことが困難となり筋力や体力の低下へ繋がってしまう事があります。また心不全や脳血管障害により治療が必要とされる患者さんに対しても、寝たきりによる二次的な障害（肺炎や体力低下など）を併発する可能性があるため、早期の積極的なリハビリテーションの提供を心がけています。

にて、義肢装具士と連携を図り、定期的に義肢や装具の調整も行っています。

チーム医療

安全に入院生活を過ごして安心して退院して頂くために、他職種との連携も大切にしています。医師、看護師、管理栄養士、相談員などの他職種と定期的にカンファレンスを行い、患者さんやご家族のご希望やリハビリテーションの状況を共有し円滑な退院支援を心がけています。



地域活動

地域リハビリテーション活動支援事業の一環で、サロン活動の要望があれば、地域へ出向き認知症やロコモティブシンドローム、嚔下について講演・実技を提供しています。

【おわりに】

今後も患者さんに寄り添いながら理学療法士としての役割を果たしていけるよう努めて参ります。

